

資質・能力の三つの柱に沿った、小・中・高を通じて 生活科において育成すべき資質・能力の整理（素案）

平成28年3月8日
 教育課程部会
 生活・総合的な学習の時間
 ワーキンググループ
 資料2

	個別の知識や技能の基礎 (生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何がわかったり、何ができるようになるのか)	思考力・判断力・表現力等の基礎 (生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使って、どう考えたり、試したり、工夫したり、表現したりするか)	学びに向かう力、人間性等 (どのような心情、意欲、態度などを育み、よりよい生活を営むか)
生活 小学校	<ul style="list-style-type: none"> ■具体的な活動や体験を通して獲得する、自分自身、社会事象、自然事象に関する個別的な気付き ■具体的な活動や体験を通して形成する、自分自身、社会事象、自然事象に関する関係的な気付き ■具体的な活動や体験を通して身に付ける習慣や技能 	<ul style="list-style-type: none"> ■身体を通して関わり、対象に直接働きかける力 ■比較したり、分類したり、関連付けたり、視点を変えたりして対象を捉える力 ■試したり、工夫したり、予測したり、見通しを持ったりして創り出す力 ■伝えたり、交流したり、振り返ったりして表現する力 	<ul style="list-style-type: none"> ■身近な人々や地域に関わり、集団や社会の一員として適切に行動しようとする態度 ■身近な自然と関わり、自然を大切にしたり、遊びや生活を豊かにしたりしようとする態度 ■自分のよさや可能性を生かして、意欲と自信をもって生活しようとする態度